

鹿沼まるとと博物館第7回企画展

「^{さいか}災禍の祈り」

文化課文化財係 ☎(62)1172

と き 2月3日(休)～2月13日(日)
午前9時～午後5時(火曜休館)
ところ 市民文化センター
多目的ギャラリー

●記念講演会

①「いのちを守る 文化財を守る」

と き 2月6日(日)
午後2時～4時10分
内 容 「災害からいのちを守るためには～自助力を高める～」
宇賀神一晃氏(県防災士会理事)
「とちぎ歴史資料ネットワークの役割」
高山慶子氏(宇都宮大学准教授)

②「いまふりかえる 疫病とのたたかい」

と き 2月12日(土)
午前9時30分～11時50分
内 容 「疱瘡神の詫び証文」
久野俊彦氏(東洋大学非常勤講師)
「100年前のマスクと予防接種」
下田太郎氏(随想舎編集部)

記念講演会①②共通事項

ところ 市民文化センター 大会議室
定員 50人(先着順)
申込 1月11日(火)午前9時から、電話で。

●ギャラリー・トーク(展示解説)

と き 2月5日(土)、11日(金祝)
午前10時～(1時間程度)
申込 不要

※展示・講演会等は全て無料です。

つながる、ひろがる

まる博ものがたり

鹿沼まるとと博物館の活動や、鹿沼の自然や歴史・文化にまつわるホットな話題を紹介します。

第12回

「^{さいか}災禍の祈り」——大絵馬に描かれた白馬に込めた願い——

縦2m×横2.7mに及ぶ巨大なこの絵馬は、江戸時代、下粕尾の常楽寺録事堂に奉納されたもので、力強く躍動する白馬の周りにわずかに残る墨書からは、両毛地域の地名と人名が読み取れます。絵馬は、奈良時代、神馬の代わりに、馬を板に描いて奉納したものといわれます。また、馬は水の神と関係が深いと考えられ、日乞いには晴天を象徴する白馬を捧げて祈願したといわれます。



文化課では、企画展「災禍の祈り」において、鹿沼の人びとが厄災にどのような向き合ってきたのかを探ります。常楽寺大絵馬は、文化活動交流館郷土資料展示室で現在公開中です。

文化課 神山 修

年末年始も新型コロナに注意!

健康課健康増進係 ☎(63)8311

年末年始に注意すべき「3つの場面」

忘年会・新年会



お酒により注意力が低下しやすくなります。狭い空間での長時間滞在にも注意!

親族等の集まり



大人数で会う、普段会わない人に会う時はさらに注意!

年越しイベント・初詣



屋外でも、不特定多数の人が集まる場所は要注意!

徹底

- ◆ 会話時のマスク着用
- ◆ 常時換気 ◆ 手洗い 等